

魅力を持った地域の建物! #歴史講座琴浦編

前号に引き続き、中止となった歴史講座で訪問予定だった地域の魅力をお届けします。今回は、琴浦編として、河本家住宅の魅力にせまります。講師の先生にご相談し紹介ページを作りましたので、ぜひ、紙面でお楽しみください!

国指定重要文化財
河本家住宅



河本家住宅 主屋



河本家住宅オモテ(北)庭

河本家住宅

河本家は山陰の戦国武将^{あまご}尼子氏の家臣であった^{やへえ}弥兵衛隆任^{だかひで}を初代とし、^{かんぶん}寛文年間(1661~1673)に五代^{やそ}弥三右衛門^{えもん}が現在の琴浦町^{のつ}篔津に移り住み、以後代々大庄屋などの要職を務めました。主屋は棟札から^{じょうきやう}貞享5(1688)年に建てられたことが明らかになっており、江戸時代中期の山陰地方の農家住宅形式をよく伝える大型民家です。

河本家住宅ここに注目<屋敷構え>

河本家住宅は旧伯耆往来に北面し、敷地正面東寄りに門及び納屋を構え、門の奥に主屋が南面して建てられています。

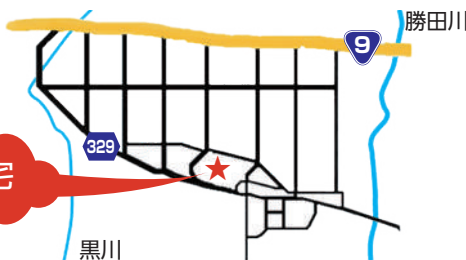
主屋は東側の居室部と西側の客間部からなり、さらに西側に付属屋を介して離れがあります。主屋の背後には庭を囲んで東から味噌蔵及び米蔵、(元)米蔵、土蔵、^{しんぐら}新蔵が建ち並び、土蔵の北側には大工小屋が建ちます。客間部の南北に配された庭も含め、河本家に伝わる嘉永7(1854)年に描かれた家相図とよく符合し、江戸時代の豪農の屋敷構えをよく留めています。

河本家住宅 繊細なこだわりにも注目

接客のための客間部には、牡丹唐草の透彫欄間や、付書院の^{つた}蔦模様の透彫欄間等の洗練された意匠が見られます。また南北に配した庭も、本地域屈指の豪農の近世庭園の一つとして価値が高いほか、限られた敷地において水路をうまく活用した池の構成も巧みです。

略図

河本家住宅



見学について

春・秋の特別公開以外にも見学可能です。

現在もお住まいの住宅のため、詳しくは下記の琴浦町教育委員会社会教育課までお問い合わせください。

琴浦町教育委員会社会教育課 野口さんより一言

河本家住宅では平成30年度から保存修理、活用整備事業を進めています。また琴浦町では山陰地方唯一の国特別史跡^{さいのおはい じあと}斎尾廃寺跡をはじめ、町内文化財の調査や保存活用に取り組んでいます。

平成28年に国史跡となった赤崎台場跡の昭和30年頃までの写真をお持ちの方は、ぜひご連絡ください。

協力

琴浦町教育委員会社会教育課

TEL

0858-52-1161

FAX

0858-52-1122

魅力を持った地域の建物！ #講座まとめ編

倉吉編、琴浦編と紹介してきましたが、特定の一軒だけではなく地域全体での注目ポイントはたくさんあります。鳥取県地域づくり推進部文化財局文化財課の玉木さんに、講座で教えていただく予定だったことを紹介していただきます。

建物は、その土地の条件や用途などによって配置や構造が異なります。このため、伝統的な建物をよく観察していくと、地域によって特徴が見えてきます。



所子集落の様子（大山町）

例えば**農村**では、琴浦町の河本家住宅のように、門をくぐり敷地に入ると、中ほどに主屋があり、その周辺に蔵などの付属屋が建てられているのが一般的です。伝統的建造物群保存地区となっている大山町の所子集落では、こうした状況がよく残っており、江戸時代以降の伝統的な農村集落の様子を知ることができます。

町家に目を向けると、農村とは違った景観を見ることができます。町家は幅が狭く奥行きが長い短冊形の敷地といった土地の制約を受けるため、通りに面した場所に店舗を兼ねた主屋、その奥に離れや土蔵といった付属屋が建てられています。倉吉市の打吹玉川伝統的建造物群保存地区ではこうした伝統的な町家が良く残っており、本通り沿いに主屋、玉川沿いに土蔵が建ち並ぶ特徴的な景観を見ることができます。



本通り沿いの主屋の様子（倉吉市）

建物は技術の進歩、生活様式や社会情勢などによって変化

農村では、技術の進展によって、より大きな建物が建てられるようになり、河本家住宅のような大型で複数の部屋のある主屋が建てられるようになります。この部屋はそれぞれ接しており、部屋を通り抜けなければ移動できませんでした。しかし、近代になると西洋化の影響を受け変化していき、建物の中ほどに廊下がつくようになります。この廊下を介して部屋を行き来できるようになり、次第に部屋の独立化が進んでいくようになります。この中廊下のある建物は、飛龍閣のような公共建築では明治期から見られますが、一般的な民家では大正期に入ってから普及していったようです。

このほか、町家でよく見られる2階建ての建物について見てみると、江戸時代まで厨子二階と呼ばれる背の低い屋根裏部屋のようなものが主流でしたが、明治以降、徐々に天井が高くなり、快適に居住できる部屋へと変化していきます。打吹玉川伝統的建造物群保存地区の町家では、厨子二階から天井の高い二階建ての建物があり、建物の変遷を見ることができます。



玉川沿いの土蔵の様子（倉吉市）

まとめ

建物は地域や時代等によって違いがあり、それを丹念に見ていくと、これまで気づいていなかった地域の特徴が見えてきます。皆さんも建物から様々な地域の特徴を見つけ、その土地の魅力を発見してみてください。

鳥取県地域づくり推進部文化財局文化財課 玉木さんより一言

鳥取県には魅力的な文化財が多くあります。モノを鑑賞することでも十分楽しむことができますが、歴史的な流れや時代背景などを知ることによって、新たな発見があると思います。

協力 鳥取県地域づくり推進部文化財局文化財課 TEL 0857-26-7760 FAX 0857-26-8128

ご意見・ご感想、こんな情報も知りたい等のご希望もお聞かせください。
県立生涯学習センター TEL 0857-21-2331 FAX 0857-21-2267

あなたの
「学び」を
応援します!!

＼ 展示、ランチタイムコンサートの様子を紹介します! ／

生涯学習展示コーナー

ファブリックステンシル作品展

令和2年8月16日(日)～8月22日(土)

山陰初のファブリックステンシルとして、毎年展示コーナーを利用し、県民のみなさんに素敵な作品と制作方法について丁寧に説明をされています。

今年はコロナ対策ということで、体験会等はありませんでしたが、多くの方が足を止め見学されました。



日本海新聞に大きく掲載されるほか、鳥取駅周辺にて、広報活動にも取り組んでおられました。

*** ** この他、お花の展示がありました。 *** **

展示のようす

古流松藤会

令和2年9月6日(日)～9月11日(金)



生け花 遠州流

令和2年9月23日(水)～9月28日(月)



ご案内

ホール等、天井工事の為、令和2年10月1日～令和3年5月31日(予定)の間は、ロビー展示・ランチタイムコンサートはご利用いただけません。令和3年6月以降のお申込の受付については以下のとおり再開予定です。

- 展示コーナー.....令和3年4月～
- ランチタイムコンサート.....令和3年5月～

ランチタイムコンサート

オカリナ演奏会

あか音ぐも

令和2年9月16日(水)

「あか音ぐも」は岸本みゆう先生に指導を受けながら、活動しておられます。

この度は、オカリナの音色で、聴かれた方々に新型コロナで疲れた心を少しでも癒して欲しいと、演奏を披露してくださいました。



発表のようす



オカリナ教室「カプチーノ」

令和2年9月23日(水)

「カプチーノ」も、岸本先生の指導のもと、県民ふれあい会館の音楽室で月2回楽しく練習しておられます。初心者の方も大歓迎とのことですので、センターまでお気軽にお問い合わせください。

健康セミナー告知

「新型コロナウイルス感染症対策の根拠」

日時：令和2年11月26日(木) 13:30~15:00 (受付13:00~)

会場：鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館）5階 講義室

講師：鳥取大学医学部 ウイルス学分野 教授 かげやませいじ 景山誠二氏

定員：60名(無料・要申込：11月2日(月)から11月25日(水)まで)

※ただし、満席の場合はお断りすることもありますので、お早めにお申込みください。

※手話通訳・要約筆記・託児・車いす席をご希望の方は、11月12日(木)までにお申込みください。

鳥取県立生涯学習センター 一部休館のお知らせ

ホール等の天井工事のため、下記の日程でご利用いただけない施設があります。

期間：令和2年10月1日~令和3年5月31日(予定)

対象施設：ホール、ロビー、ホワイエ

2階 小研修室(4)・中研修室(4)・中研修室(5)

※1階レストランなじみ亭、ふれあい文庫、上記以外の研修室は通常どおりご利用いただけますが、工事による騒音でご不便、ご迷惑をおかけすることがあります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。



申込・問合せ先

鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館） ☎680-0846 鳥取市扇町21

TEL (0857) 21-2331 / FAX (0857) 21-2267 / URL <http://fureaikaikan.jp> / Eメール manabi@fureaikaikan.jp



このコーナーでは、県内の生涯学習に取り組むグループやサークルなど、皆さまからいただいた自慢話や地域活動、ボランティア活動、催物案内、仲間募集などに関するさまざまな「つぶやき」を掲載しています。

大山女性の会（たんぽぽ）

1985年から男女共同参画実現を目的として研修活動を重ねてきた団体です。

現在も、日本女性会議に積極的に参加したり、いどばた会議たんぽぽという活動では、身近な女性問題を話し合ったりしています。小さなグループで気軽に活動できる点を自慢としています。

●今後の活動予定●

- HP たんぽぽの充実と拡散
- 大山町の女性問題についての研修

日時：新型コロナの状況によるため未定

問合せ先：会長 桑原さん

TEL 080-2940-2125

HP <https://daisentanpopo.com/>



活動の中から女性の社会的自立を目標に、HP たんぽぽを開設しました。昨年の大山町文化祭で販売した手作り品等をHPでも販売しています。

<https://daisentanpopo.com/>



宝木地区文化祭での手話歌発表

手話サークル めだか

約4年前に、宝木地区公民館の生涯学習事業の手話教室として始まり、今年4月から「手話サークルめだか」として8名のメンバーとともに、楽しくサークル活動をしています。

手話を繰り返し丁寧に学ぶ事を目標にしており、宝木地区の文化祭では手話歌を発表して、地域の方々にも手話への理解を深めてもらえるよう活動をしています。

●活動日●

日時：毎月第2土曜日 14:00~16:00

場所：鳥取市立宝木地区公民館

問合せ先：鳥取市立宝木地区公民館

TEL (0857) 82-2407

メンバーと会えるのも楽しみの一つ
 和気あいあいと楽しく手話を学んでいます！
 メンバー大募集中！

このコーナーでつぶやいてみたいグループ、大募集!! お気軽に下記にお問合せください。

なお、掲載にあたっては、条件があります。ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

問合せ先 鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館） TEL (0857) 21-2331

マナビィとマナベルウくん“へ〜ふ〜ん そうだったのか”コーナー

そうなんだよ。お天気も気まぐれだからはっきりと現象が起ころんとは言い切れないけど、日本では冬型の気圧配置が強まるから、大雪が降ってもおかしくないくらい寒くなるかもしれないね。



ふ〜ん、そうなんだ。年末が近づくとつれて、水温も気温も例年より下がる可能性があるんだね。



ペルル沖の海水温が平年よりも低くなった場合を「ラニーニャ現象」というみたいだよ。数年に一度発生すると言われているから、今年がちょうど数年に一度の年なのかもね。



そうなんだ。ラニーニャ現象ってなに？



そうだねえ。今年は、ラニーニャ現象が発生する確率が高いと言われているもんね。



うう…今年是一段と冷えるねえマナビィ…



「ご意見、ご感想をお寄せください」
 ma·navi について鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館）までご意見・ご感想をお寄せください。
 ※お便りは本誌で紹介させていただく場合があります。